

銀河通信

NPO 法人 北斗七星

〒376-0006 桐生市新宿 3-3-19

(桐生市総合福祉センター内)

Tel 0277-43-6151 Fax 0277-46-9504

いつまで続くの～?



早くもどってこ～い!!



みなさんお元気ですか?

北斗七星の家、きらきら星、いちばん星の子どもたち、指導員はみんな元気です。

「カラオケ行きたい」「ごはん食べに行きたい」

「お出かけできる?」「映画行く?」「コロナが終わったらね」

「コロナいつ終わるの?」「早く終わるといいねえ」

こんな会話がずっと続いた一年でした。全員の努力とご家族の協力を得て、どうにか感染者を一人も出すことなく、子どもたちの元気いっぱいな笑顔浴びて過ごしています。

そんな中、NPO 法人北斗七星の総会が、今年も書面表決を取り入れ、規模を縮小し 5 月 20 日に開催され、引続き同じ体制で活動していくことを確認しました。総会では、行事がほとんど中止になり、発信する場がなくなってしまい、モチベーションを保つことが難しいとの報告もなされ、行事等が再開されることを想定して何をすればいいのかが等の話題も出ました。子どもが入所している親にとっては、面会ができなくなって1年。だからと言って、リモート面会をしても、その後に不安定になるかとも思いできないでいる気持ちも、仲間だから言えたり……。ほんと、早く終わるといいねえ・・・しか言えないですね。せめて、ワクチン接種ができて、収束に向けて明るい兆しが見えてきますように祈るばかりです。

男の子はブロックに夢中



きらきら星といちばん星では、高校を卒業して社会人になった子ども新しい環境で頑張っていると伝わってきています。そして、新しく仲間入りしたお友達もすっかり慣れてきて、にぎやかな時間が今の困難な状況をちょっとの間忘れさせてくれています。

神経衰弱



手づくり by タンボール

子どもの笑顔って、私たちに力を与えてくれますね。ホントホント!!



室内用の砂の感触って...

何の形をつくらうかなあ~

これから梅雨に向かっていきます。暑さも湿度もどんどん上昇してきます。感染対策の手を緩めることなく、みんなで乗り越えていきましょう。引きつづき、みなさんの応援をお願いいたします。

お勧め図書館

「私たちはふつうに老いることができない 高齢化する障害者家族」

児玉真美 著 大月書店 1800円

笑っちゃうほどストレートなタイトル。著者の児玉氏はご自身も重度重複障害のお子さんがいて、日本ケアラー連盟の代表理事をされており著書も多く出されています。

高齢になり、自らの心身に衰えを感じても私達は「親」をやめることができない。入所施設やグループホームに送り出してもすべての荷がおけるわけではなく「親の仕事」は続く。そんな親達の声を集めた本です。共感できることがたくさんありました。

また「親亡き後」という言葉の解釈に関する疑問点も書かれていた。障害者の親が皆「ピンピンコロリ」で逝けるなら、不安や苦労なんてない。この点についてももう少し声をあげてもいいのでは、と思いました。

(森)

令和3年度賛助会員募集のお願い

今年も皆さんにお願いする季節になりました。

昨年も皆様のご支援ご協力をいただき、北斗七星の運営にあたってまいりました。障害児・者、家族を取り巻く環境は、まだまだ厳しいものがありますが、更なる支援を進めてまいります。

つきましては、3年度も引き続き皆さんに賛助会員としてご支援をお願いいたします。

年会費	個人	一口	3,000円
	団体	一口	5,000円

申込方法 最寄りの北斗七星会員まで
または郵便振替用紙をご利用ください。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、今回も集まって編集作業を行うことができず、またまた臨時号をお届けすることになりました。この状態が収束し、顔を合わせて近況報告ができる日が早くやってくることを願いながら、そして、別の部屋から聞こえてくる子供たちのにぎやかな声に後押しされて、パソコンとにらめっこしています。

みなさま、くれぐれもご自愛ください。